

科目名	成人看護学特殊研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (成人看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 南川雅子 教授 林さとみ 准教授 古屋洋子						
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	成人各期にある様々な健康レベルにある対象のニーズを多面的に分析し、最適健康状態を生み出すための看護援助の開発、支援体制づくりに関する方法等について、量的手法または質的手法を用いて研究し、論文を作成する。						
授業の到達目標	①研究テーマを絞り込むことができる。 ②研究計画書を書くことができる。 ③対象者への倫理的配慮に基づいてデータを収集できる。 ④収集したデータを適切な方法で分析できる。 ⑤論理的で一貫性のある考察ができる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>研究テーマに沿って研究計画を作成し、データ収集して論文を仕上げる。詳細については相談して決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマの検討 ・先行研究の検討 ・研究計画立案 ・データ収集 ・データの整理と分析 ・論文作成 <p>【研究テーマ】 (南川雅子)がんリハビリテーション、およびがん患者・家族への看護介入に関する混合研究、量的研究</p> <p>(林 さとみ)循環器疾患リスクのある個人・集団、循環器疾患患者・家族の、疾患発症・悪化リスクに対する認識と行動変容に係る要因の探究、概念化、看護介入</p> <p>(古屋洋子)周術期がん患者の栄養管理、療養生活支援</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。回りの授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	研究活動中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	必要に応じて適宜提示する。						
参考書	必要に応じて適宜提示する。						
成績評価の方法および基準	研究計画発表20%、中間発表20%、口頭試問60%						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						